

民間クリニックにおける効果的な HIV 即日検査の実施と 質の向上のための研究

研究分担者 井戸田 一朗 (しらかば診療所)
研究協力者 佐野貴子 (神奈川県衛生研究所)
近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
今井光信 (田園調布学園大学)

研究要旨

民間クリニックにおける HIV 検査実施の実態把握及び、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関と研究班とのネットワークの再構築を目的に検討を行った。既存 33 施設、新規 18 施設に HIV 検査・相談マップ掲載のための施設基準を送付し、31 施設より回答があった、次年度より、31 施設に対し HIV 検査実施状況に関する調査票を送付、回収、結果を集計し、民間クリニックにおける HIV 検査実施の実態を把握する予定である。

A.研究目的

民間クリニックにおける HIV 検査実施の実態把握とモデルとなる医療機関と研究班とのネットワークの再構築

(倫理面への配慮)

特になし

B.研究方法

既存の HIV 検査研究班で 2014 年までに確立された、41 箇所の HIV 即日検査を実施する民間クリニックと HIV 研究班とのネットワークは、2015 年 3 月に HIV 検査研究班の終了に伴い、喪失したものの、検査研究班ウェブサイト(HIV 検査・相談マップ <https://www.hivkensa.com>)には引き続き掲載されている。一方、2016 年から 2019 年の間に、新たに 18 箇所の施設から掲載希望の申し出があった。既存の 33 箇所及び、新規に掲載を希望された 18 箇所に対し、PICT 及び VCT のいずれかの手法による、民間クリニックにおける HIV 検査の実態把握とモデルとなる医療機関とのネットワークの確立を目的に検討を行った。

C.研究結果

- 2016 年から 2019 年の間に、18 箇所の医療機関から、HIV 検査・相談マップへの掲載を新規に希望する問い合わせがあった。
- 新規に掲載を希望した 18 箇所の医療機関の半数は自費診療を中心とする施設、半数は保険診療を中心とする施設であった。
- 地域別では東京 14 箇所、大阪 2 箇所などであった。
- 既存の医療機関 33 施設及び新規の 18 施設に対し、掲載のための施設基準を設け(資料 2)、新規施設には(様式 1)を、既存施設には(様式 2)を施設基準と一緒に送付した。施設基準への遵守の意思を、誓約書の形で各医療機関から回収した。主な施設基準は下記の通りである。
 - HIV スクリーニング検査が陽性の場合

に、確認検査を実施し、受検者に確認検査結果を自施設で告知。確認検査が陽性であった場合、専門医療機関に紹介し、確実にケアにつなげるよう配慮すること

- ▶ 各施設における広報として、本研究班に参加していることを掲載する際、研究班の特別研究協力者である、という内容を基本とし、その内容から大きく逸脱しないこと
- ▶ 研究班から依頼する調査票等の提出
- ▶ 特定の施設に対し、HIV 検査受検者より研究班に意見が寄せられた場合は、研究班とその施設で対応を協議すること
- ▶ 研究班内で毎年、「HIV 検査・相談マップ」の掲載継続可否に関する審査が行われること
- 2020年2月29日までに、既存33施設中21施設から、新規18施設中10施設から誓約書を受け取った。
- 掲載を希望する医療機関に対し、研究班よりアプローチし、来年度より下記の情報を1年に1回調査票として送付・回収し、検査実施状況をモニタリングし、HIV 検査・相談マップ掲載継続を審査する予定である。
 - ▶ HIV 即日検査検体数、性別、陽性数、確認検査陽性数、陽性者属性
 - ▶ 陽性者報告の有無、フォローアップ、使用キット名、検査料金、検査実施の目的
- 今後、30施設を HIV 検査・相談マップに掲載し、施設の掲載基準を公開する予定であり、同時にさらなる応募を期待する。また、掲載希望施設の応募については継続して行う予定である。

D.考察

既存33施設中21施設、新規18施設中10施設より誓約書による施設基準を遵守するとの回答が得られ、HIV 検査・相談マップに掲載予定である。本研究の継続により、掲載希望施設がさらに増加し、HIV 検査相談機会の充実に大きく寄与できるものと期待される。

E.結論

民間クリニックにおける HIV 検査実施の実態把握及び、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関と研究班とのネットワークの再構築を目的に検討を行った。既存33施設、新規18施設に HIV 検査・相談マップ掲載のための施設基準を送付し、31施設より回答があった、次年度より、31施設に対し HIV 検査実施状況に関する調査票を送付し、回収し結果を集計し、民間クリニックにおける HIV 検査実施の実態を把握する予定である。

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

なし

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

研究班協力医療機関の施設基準

(令和2年2月1日現在)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究

- 1 保健所に開設届が受理された診療所であること
- 2 本研究班の下記の目的に対してご理解とご協力が頂けること
 - ① 検査所の利便性向上、受検アクセスの改善、HIV 診断検査の充実を図り、検査の質を丁寧に高めること
 - ② 自治体行政との連携モデルを構築することで、日本全体の検査体制を向上させ、HIV 陽性者の早期診断をすすめること
- 3 HIV スクリーニング検査が陽性の場合に、確認検査*を実施し、受検者に確認検査結果を自施設で告知して頂けること

*HIV スクリーニング検査では、受検者の約 0.3%に偽陽性が出現します。スクリーニング検査で陽性となっても、確認検査では陰性となることがあるため、必ず確認検査を実施してください。
- 4 確認検査陽性者を、専門医療機関への紹介とケアに確実につなげて頂くよう、ご配慮頂けること
- 5 「HIV 検査・相談マップ」掲載の申請後、研究班内での審査を経て、掲載可否を決定させて頂く他、掲載継続に関する審査が毎年あることをご理解頂けること
- 6 予告なく「HIV 検査・相談マップ」への掲載を停止させていただく場合があることにご理解頂けること
- 7 研究班から依頼する誓約書、調査票等を毎年ご提出頂けること

誓約書 (初回)

(クリニック名)

(院長名)

_____ は、研究班の趣旨を理解し、下記を同意します。

- HIV 検査を希望し当院に来院した受検者において、HIV スクリーニング検査が陽性の場合に、確認検査を実施し、受検者に確認検査結果を自施設で告知します。
また確認検査が陽性であった場合、専門医療機関に紹介し、確実にケアにつなげるよう配慮します。
- 当院の広報に、本研究班に参加していることを掲載する際、下記の内容を基本とし、その内容から大きく逸脱しません。
「当院は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業『HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究』班の特別研究協力者です」
- 研究班から当院に依頼された調査票等を遅滞なく提出します。
- 当院における HIV 検査について、HIV 検査の受検者より研究班に意見が寄せられた場合は、研究班と真摯に対応を協議します。
- ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」に掲載を希望します。
- 研究班内で毎年、「HIV 検査・相談マップ」の掲載継続可否に関する審査が行われることに同意します。
- 予告なく「HIV 検査・相談マップ」への掲載を停止させていただく場合があることに同意します。

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

クリニック名 _____

院長名 (自署) _____

誓約書 (継続)

- 次年度も研究班に協力医療機関として参加いたします。
- 「HIV 検査・相談マップ」の掲載情報に変更が → (あります・ありません)
※変更がある場合には、「HIV 検査・相談マップ」内の「掲載情報の変更依頼書」
<https://www.hivkensa.com/contact/shisetsuhenkou.html> も一緒にご送付下さい
- HIV 検査を希望し当院に来院した受検者において、HIV スクリーニング検査が陽性の場合に、確認検査を実施し、受検者に確認検査結果を自施設で告知します。
また確認検査が陽性であった場合、専門医療機関に紹介し、確実にケアにつなげるよう配慮します。
- 当院の広報に、本研究班に参加していることを掲載する際、下記の内容を基本とし、その内容から大きく逸脱しません。
「当院は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業『HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究』班の特別研究協力者です」
- 研究班から当院に依頼された調査票等を遅滞なく提出します。
- 当院における HIV 検査について、HIV 検査の受検者より研究班に意見が寄せられた場合は、研究班と真摯に対応を協議します。
- 研究班内で「HIV 検査・相談マップ」の掲載継続可否に関する審査が行われることに同意します。
- 予告なく「HIV 検査・相談マップ」への掲載を停止させていただく場合があることに同意します。

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

クリニック名 _____

院長名 _____